

【特別講演 講師紹介】

辻本 賀英 教授 (つじもと よしひで)

大阪大学大学院医学系研究科
遺伝子学・教授



「細胞死の分子メカニズム」

真核細胞は細胞内に自殺装置を備えており、必要に応じそのスイッチを入れ死に至る。それは、プログラム細胞死と呼ばれ細胞死制御の破綻は、疾患の発症につながるため、分子機構解明が急務とされている。

本シンポジウムではこれらの成果を紹介しつつ、細胞死研究の今後の方向性や創薬開発の可能性にも触れたい。

中村 義一 教授 (なかむら よしかず)

東京大学医科学研究所
遺伝子動態学分野・教授



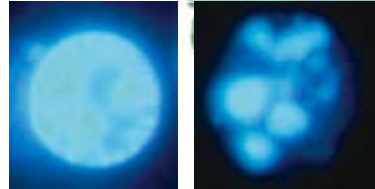
「RNAの造形力を利用した創薬」

RNAアプタマーとは標的分子に特異的に結合する核酸のことで、次世代の分子標的医薬として注目されている。RNAは多様なかたちを造りだす造形力により、標的のタンパク質を捕捉でき、アプタマーは抗体が作製できない標的分子に対して作製可能である。

本公演では、アプタマー医薬品開発の現状と将来性に関して紹介する。

【日 時】 平成21年 **12月19日(土)**
9:30~17:00

参加費無料
どなたでも自由に
ご参加できます。



【場 所】 **じゅうろくプラザ** 5階大・小会議室

岐阜市橋本町1-10-11 **JR岐阜駅西隣**

URL <http://plaza-gifu.jp/>

第2回

先端創薬医療シンポジウム

新しい創薬と医療の時代へー医薬工連携によるチャレンジー

■午前の部

9:30 ~ 9:40 開会挨拶 小森 成一 (岐阜大学学術研究・情報理事)

9:40 ~ 10:10 **大規模データの蓄積とデータマイニング**
紀ノ定 保臣 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科・教授)

10:10 ~ 10:40 **活性化酸素消去能に関するポリフェノール類の構造特性**
宇野 文二 (岐阜薬大・岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科・教授)

10:40 ~ 11:10 **アトピー性皮膚炎の病態モデルの作成と応用**
稲垣 直樹 (岐阜薬大・岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科・教授)

11:10 ~ 12:10 特別講演
細胞死の分子メカニズム
辻本 賀英 (大阪大学大学院医学系研究科・遺伝子学・教授)

13:10 ~ 14:30 休 憩
ポスタープレゼンテーション

■午後の部

14:30 ~ 15:00 **製薬企業におけるバイオイメージングを用いた創薬**
西村 伸太郎 (アステラス製薬研究本部バイオイメージング研究所長)

15:00 ~ 15:30 **RNA創薬を目指すケミカルバイオロジー**
北出 幸夫 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科・教授)

15:30 ~ 16:00 **マイクロRNA-143,-145の脱制御と発癌へのネットワーク**
赤尾 幸博 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科・教授)

16:00 ~ 17:00 特別講演
RNAの造形力を利用した創薬
中村 義一 (東京大学医科学研究所遺伝子動態学分野・教授)

17:00 ~ 閉会挨拶 勝野 眞吾 (岐阜薬科大学学長)

【問い合わせ先】

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科 連合創薬係
TEL 058-293-3272(直通) FAX 058-293-3273

URL <http://www1.gifu-u.ac.jp/~rensou/>

※岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科は、岐阜大学と岐阜薬科大学との連合大学院です。

【共 催】

文部科学省採択事業
戦略的大学連携支援事業
岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科